

二〇二五年度 学校推薦型選抜〔特技推薦・書道部門〕

書道実技問題

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 二、提出作品はすべて本学指定の用紙を用いてください。
- 三、提出作品には必ず左下に**九桁の手続受験番号**を鉛筆で記入してください（受験番号を記入しないよう、注意してください）。
- 四、提出作品は全部で四枚です。設問順に重ねて机上において退出してください。
- 五、書き損じ及び残余の用紙は一切持ち帰ってはいけません。
- 六、問題用紙は、試験終了後持ち帰ってください。

一

(A) 別紙の「雁塔聖教序」の指定部分を半紙に臨書しなさい。

「積雪晨飛」

(B) 別紙の「高野切第一種」を半紙中央に原本と同形式で原寸臨書しなさい。

「歌一首」

二

次の(A)、(B)の内、いずれかを選択して半紙に創作しなさい。

(A) 「二葉落天下秋」 (行書体による)

(B) 「夏の夜はまだよひながら明けぬるを雲のいづこに月やどるらん」

(漢字かな変換可、変体がな使用可、ちらし自由)

三

次の文を半紙に読みやすく書きなさい。

「書は実にその人を生々しく感じさせるものだから、例えば白隠でも大雅でも、時間を超えていつでも対話できるのがあるがたい。」

(漢字、かな変換不可、変体がな使用不可、句読点省略)

一 (A) 「雁塔聖教序」



一 (B) 「高野切第一種」

